



平成 30 年 4 月 12 日

各 位

会 社 名 Shinwa Wise Holdings 株式会社
代表者名 代表取締役社長 倉田 陽一郎
(J A S D A Q ・ コード 2 4 3 7)
問合せ先 経理部長 益戸 佳治
電話番号 0 3 - 5 5 3 7 - 8 0 2 4
(<http://www.shinwa-wise.com>)

平成 30 年 5 月期通期連結業績予想値の修正に関するお知らせ

平成 29 年 7 月 14 日に公表しました平成 30 年 5 月期（平成 29 年 6 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日）
通期の連結業績予想値を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正について

平成 30 年 5 月期通期連結業績予想値の修正
（平成 29 年 6 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日）

（単位：百万円）

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1 株当たり当期純利益
前 回 発 表 予 想 (A)	5,960	432	374	227	円 銭 37.58
今 回 修 正 予 想 (B)	3,050	△150	△220	△230	△36.59
増 減 額 (B - A)	△2,910	△582	△594	△457	
増 減 率 (%)	△48.8	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (平成 29 年 5 月期)	5,348	364	303	166	28.13

<修正の理由>

オークション関連その他事業において、これまで当社グループが培ってまいりました富裕層ビジネスからシンワダイヤモンド倶楽部を発足させ、資産防衛のためのダイヤモンド販売を開始いたしました。しかしながら、「金からダイヤモンドへ」の考え方の変換、浸透には当初の予想よりも時間を要することとなり、当初の売上計画を大幅に下回る見込みであります。

また、エネルギー関連事業では、低圧型太陽光発電施設の販売において、平成 29 年 4 月に施行された改正 FIT 法による認定制度の大幅な変更により市場が混乱する中、確実に連系が可能な仕入案件の厳選に当初予想よりもはるかに多くの時間を費やすこととなり、当第 3 四半期連結累計期間は合計 17 基の販売実績となりました。現在仕入案件を順次確保しつつあるものの、当初計画の 135 基の販売に対し、57 基程度に止まる見込みであります。

当第 3 四半期連結累計期間より参入したウェルスマネジメント分野における、米国テキサス州中古不動産物件紹介事業は、現地の税制及び経済状況、不動産事情が日本では殆ど知られておらず、キャピタルゲインが享受できる収益物件であることを浸透させることに当初の想定よりも大幅な時間を費やしたため、販売件数は、当初計画を大きく下回る見込みであります。

以上のとおり、売上高の大幅な下方修正に伴い、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、いずれも当初計画値を大きく下回る見込みであります。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想値と異なる結果となる可能性があることにご留意ください。

以 上